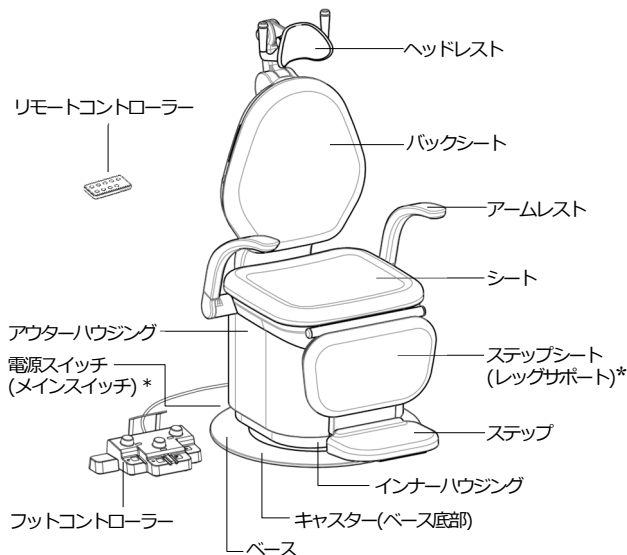


オウリストチェア-RX50

【形状・構造及び原理等】

1. 構成



本器はヘッドレスト、バックシート、アームレスト、シート、レッグサポート、ステップ、アウターハウジング、インナーハウジング、ベース、フットコントローラー、リモートコントローラー、キャスターなどにより構成する。*

2. 動作原理

使用者によるフットコントローラーなどの操作に基づき次の動作を行う。

- (1) 油圧モーターを制御し、油圧によるチェアの上昇・下降、およびバックシート・レッグサポートの起立・傾斜動作を行う。またオートポジションスイッチ(オート操作の各スイッチ)の操作により、あらかじめ記憶した位置へ変更できる。*
- (2) ヘッドレストは、患者の頭部を保持し、患者を治療しやすい位置に安定させる。患者頭部の角度と座面からの高さが変えられる。ヘッドレストの任意の位置への固定は、電動式、手動式がある。固定式の場合もある。内部に治療に必要な器具を格納できるものがある。
- (3) チェアは手動により水平回転を行うことができる。* またモーター制御で水平回転を行う。(オプション)
- (4) チェアを移動させたい場合は格納したキャスターを展開する。(オプション)

3. 寸法、質量

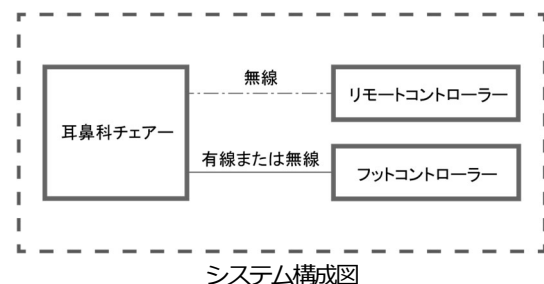
- (1) 寸法：幅 615 × 全長 1,820 mm
- (2) 質量：約 153 kg

4. 電気定格

- (1) 定格電圧：AC 100 V (50/60 Hz)
- (2) 電源入力：1.0 kVA
- (3) 電撃に対する保護の形式：クラス I 機器
- (4) 電撃に対する保護の程度：B 型装着部

5. システム構成図*

システム構成図は下図のとおりです。医療機器の範囲は太字の四角枠です。破線は防電線境界となります。*



【使用目的又は効果】

診療または処置のために用いる汎用の診察・処置台。
基礎機能(昇降・傾斜)を備える。診療室または手術室において用いる。電動式。

【使用方法等】

1. 使用環境条件

下記の条件にて使用すること。

- (1) 周囲温度 : 10 ~ 35 ℃
- (2) 相対湿度 : 30 ~ 75 %RH (結露しないこと)
- (3) 気 圧 : 700 ~ 1,060 hPa

2. 取り付け・設置 (組立て・据え付け)

機器の取り付け・設置は専門の技術者 (当社または当社指定の業者)が行う。

3. 使用方法

- (1) 介助者の準備が終われば本器のメインスイッチをONにする。*
- (2) 患者をチェアに座らせる。
- (3) フットコントローラー、バックシートのスイッチ、リモートコントローラーを操作し、シートを診療位置まで上昇させる。
- (4) 必要に応じてチェアを回転させ、バックシートを傾斜させ、ヘッドレストの角度を調整し、患者の治療部位を術者の適した診療位置に配置する。
- (5) 必要に応じて、別途設けたユニットより薬液スプレー、通気ホース(通気シリンジ)、吸引ホース(吸引シリンジ)などを引き出し、耳鼻咽喉科の診療を開始する。*
- (6) 診療が終われば薬液スプレー、通気ホース(通気シリンジ)、吸引ホース(吸引シリンジ)などを元の位置に戻す。*
- (7) 患者をチェアから退出させる。
- (8) 使用終了したら本器のメインスイッチをOFFにする。*

4. 使用方法等に関連する使用上の注意

- (1) チェアを作動または回転させる前に、周りに障害物などがいないか、バックシートの下に人がいないか、ステップの下に人がいないかを確認し、特に子供には注意すること。
チェアのすき間に指などの体の部分が入っていないことを確認すること。事故につながるおそれがある。
- (2) 患者がアームレストなどのチェアの一部を強く握りしめたり、隙間に指など体の部分が入っている状態でチェアを作動させないこと。挟まれて事故につながるおそれがある。
- (3) オートポジションスイッチ(オート操作の各スイッチ)でチェアを作動させるときは、必ず患者の動きや周りの機器に注意のこと。事故につながるおそれがある。*
- (4) ヘッドレストはしっかり支えて操作すること。またヘッドレストカバーを使用の際は、滑らないようにしっかり支えて操作すること。ヘッドレストを急に上下すると患者に衝撃を与え事故につながるおそれがある。*

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

〈使用前〉

- (1) 本器は着座以外の姿勢で乗せないこと。チェアの上に立ったり、正座姿勢で乗せると、事故につながるおそれがある。
- (2) 小さな子供を1人で座らせるとき、または子供を抱いて座らせるときには安全に十分注意すること。事故につながるおそれがある。

〈使用後〉

- (1) 長時間使用しないときは、室内の電源ブレーカーをOFFにすること。漏電などにより思わぬ事故を起こすおそれがある。*

〈お手入れ〉

- (1) 外装面の清掃にはアルカリ性・酸性洗剤、クレゾール石けん液、薬品などは使用しないこと。変色・変質および機器の故障の原因となる。
- (2) 血液や薬品が付着したときは、すぐに消毒用アルコールで清拭すること。変色・劣化の原因となる。
- (3) 清掃に酸性水は使用しないこと。機器の損傷につながるおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

下記の条件にて保管すること。

- (1) 周囲温度 : -10 ~ 70 ℃
- (2) 相対湿度 : 10 ~ 85 %RH (結露しないこと)
- (3) 気 圧 : 700 ~ 1,060 hPa

2. 耐用期間

10年間。(自己認証 (当社データ) による)

※正規の使用法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

1. 医療機器の使用、保守の管理責任は、使用者 (医療機関、病院、診療所) 側にある。

2. 保守点検は使用者側で行うのが原則であるが、実施されない場合には、医療機器修理業などの有資格者に外部委託することが認められている。

3. 日常点検および定期保守点検

〔使用者による保守点検事項（日常点検）〕

使用前(毎回)に以下の項目にしたがって点検を行う。

No.	点検項目
1	マニュアル操作によるチェアへの作動*
2	オート操作によるチェアへの作動*
3	停止機能の作動
4	回転機能の作動
5	ヘッドレストの作動
6	メインスイッチの作動、電源ランプの点灯*
7	チェアロックスイッチの作動
8	ステップ下安全装置の作動
9	キャスターの作動（オプション）
10	本体、シートおよびカバー類*
11	シート下や周辺*
12	フットコントローラー、リモートコントローラー*

詳細は取扱説明書を参照すること。

〔使用者による保守点検事項（定期保守点検）〕

6か月ごとに以下の項目にしたがって点検を行う。

No.	点検項目
1	マニュアル操作によるチェアへの作動*
2	オート操作によるチェアへの作動*
3	停止機能の作動
4	回転機能の作動
5	ヘッドレストの作動
6	アームレストの作動
7	シート、バックシートおよびヘッドレストのがたつき*
8	チェアロックスイッチの作動
9	ベースとアウターハウジングの隙間
10	ステップ下安全装置の作動
11	キャスターの作動（オプション）
12	各銘板類、シール類の状態
13	外観の状態
14	本体の設置状態

詳細は取扱説明書を参照すること。

〔業者による保守点検事項（定期保守点検）〕

6か月ごとに定期点検を弊社または弊社の指定する業者に依頼すること。

No.	点検項目
1	装置を作動させる電源電圧の測定
2	電気回路の配線
3	油圧回路の部品
4	本体のねじ部の締結
5	本体内部の汚染
6	本体の設置状態

詳細は取扱説明書を参照すること。

4. 交換部品、消耗部品については、取扱説明書に交換部品、消耗部品のリストを記載しているので、交換時期、消耗度合により交換すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社モリタ東京製作所

電話番号 048-723-2621

お客様専用フリーダイヤル 0120-131-557

受付対応時間 9:00～12:00、13:00～17:00

（土・日・祝日を除く、弊社営業時間）

サイバーセキュリティに関する情報請求先*

製造販売業者と同じ*